

◎輸入販売元・お問い合わせ

〒133-0057 東京都江戸川区西小岩1-30-10 1F

株式会社 ハイテック マルチプレックス ジャパン

Nine Eagles 専用ダイヤル:03-6458-0191

受付時間:月曜日～金曜日(祝祭日・夏期休暇・年末年始を除く)

10:30～12:30、13:30～16:30

Web Site : www.hitecrd.co.jp

当製品のお問い合わせはカスタマーサービス専用ダイヤルまでお願い致します。

お電話でのご注文は承る事ができませんので予めご了承の程お願い致します。



2.4GHz 4ch HELICOPTER

[ソロ・プロ 232]

2.4GHz 4ch

SOLO PRO 232



2.4GHz互換システム RFアダプターモジュール
GENERAL LINK 対応

ご購入頂きましたお客様に重要なお願い

ご購入頂いた際の日付入りレシートや納品書は初期不良交換をさせて頂く場合に必ず必要となりますので、必ず保管下さいますようお願い致します。

当製品は製品の性質上、ご購入直後（2週間以内）の動作確認時に認められる不良以外、交換はお受けすることは出来ません。あらかじめご了承ください。また、返品はいかなる場合におきましてもお受けできません。

※当製品に付属する送信機は以前の J4 送信機と異なり、ネジを外してモード切替えを行う事はできません。日本国内ではモード 1 のみの販売となります。

※当製品は予告無く仕様を変更する場合がありますので、最新情報は弊社 WEB サイトでご確認ください。

目次

ご挨拶・目次	2
安全の為に注意警告・飛行場所の注意	3~4
Li-Poバッテリー取り扱い上の注意	5
送信機の電源を入れる際の注意	6
スベック・梱包内容	7
送信機各部名称	8
D/R（デュアルレート）の切替え方法	9
送信機と受信機のバインド方法	10
Li-Poバッテリー充電方法	11
スティック操作一覧	12
トリム調整	13
フライトトレーニング	14
カメラシステムの使用方法	15
フライトに関するQ&A	16
展開図	17~19
パーツリスト	20
修理規定について	21

■ イントロダクション

この度は当製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。当製品は安定性の高いシングルローターヘリで基本操縦を習得されたお客様を対象にした、上級者向けのシングルローター固定ピッチヘリコプターです。また、当製品では新たにLEDユニットを搭載し、ナイトフライトも可能になりました。

本格的なR/Cヘリコプターの操縦感覚を屋外（風速1~2メートル）で楽しめます。玩具ではありませんので、当説明書の取扱の注意をよくお読み頂き、末永く安全にご愛用下さりますよう社員一同、心よりお願い申し上げます。

文中のアイコン表記について



WARNING

注意事項です。必ずお守りください



WARNING

重要事項

- 当製品は玩具ではありません。14歳以下のお子様に使用させないで下さい。また、お子様の手の届く場所に保管しないで下さい。
- 飛行に慣れるまでは広い場所での練習をお奨めします。風の影響を受けますので、微風以下の環境で練習して下さい。
- ローターやスタビライザーは回転して大変危険です。飛行中は人の顔や手に回転物が接触しないように安全に飛行させて下さい。特に見物人にご注意下さい。
- 本製品は屋外での飛行が楽しめるモデルです。ただし、屋外では風の影響で正常に飛行出来ない場合もございます。また、室内では思わぬ動きにより家具などを破損する可能性がありますので、十分にご注意ください。
- 飛行前に必ず各ビスの緩みや脱落がないかを点検して下さい。点検を怠ると最悪の場合、飛行中に部品が飛び危険です。また、激しい着陸や墜落の後には部品にヒビや割れが無いかを確認して下さい。
- 飛行させないときは常に機体からバッテリーを取り外して下さい。そして保管中はお子様に触れさせないように注意して下さい。
- 本機はLi-Poバッテリーを使用しています。この電池は取り扱いを誤ると発火等の危険な事態になる恐れがあります。取り扱い注意事項を守り、安全に飛行をお楽しみ下さい。
- 本機のLi-Poバッテリーは純正充電器、機体での放電のみ可能です。それ以外の機器での充電や放電は絶対にお止め下さい。
- 本機のLi-Poバッテリーの充電は高温度や直射日光をお避け下さい。
- 本機のLi-Poバッテリーの保管は金属ケースを避け、コネクタ端子がショートしないように保管して下さい。
- 本機のLi-Poバッテリーを分解や改造しないで下さい。

- ・送信機と機体、及びLi-Poバッテリーは絶対に水に濡らさないで下さい。
- ・本機は他の2.4GHzの無線LAN等のワイヤレス機器と同じ周波数の電波を使用しています。飛行する際は電波影響のない場所でお楽しみ下さい。
- ・当製品の性格上、お客様がご使用(飛行)になって起きました結果に付きまして、一切の保証は致しかねます事をご了承下さい。

■安全のために

⚠ WARNING 適切な場所でフライトをしましょう

- ・本機体は固定ピッチ機の為に風の影響を受けやすくなっております。屋外でのフライト向けとなっておりますが、無風～微風でのフライトをお勧めします。風が強い日にフライトすると、機体を破損・紛失する恐れがあります。十分ご注意ください。
- ・また、屋外・屋内を問わず、回りの建物・人物・その他(自動車など)に十分注意を払ってください。高圧線・鉄道・空港・その他公共施設でのフライトはお止め下さい。公園等のフライトは行政によって禁止されている場合があります。ご注意ください。

⚠ WARNING フライト頂く前に必ずお読みください

NineEaglesヘリコプター製品動作確認手順のご案内

【機体破損の有無】

- 1.機体・送信機・付属品が揃っていることを確認し、欠品がないかをご確認ください。
- 2.機体・送信機・付属品に破損がないかどうかよくご確認ください。破損を発見した場合はフライトさせずに弊社カスタマーサポートにご連絡ください。

【プロポの動作確認手順】

- 1.プロポの電源を入れ、エルロン、エレベーター、ラダー、スロットル、ピッチ(3軸ジャイロ搭載機のみ)、の各種スティック動かして引っ掛かりがないこと、液晶画面のポテンションインジケーター(トリムポジション表示)がスティックに追従していることを確認してください。
- 2.トリムスイッチを操作した時、すべてのトリムが正常に増減していることを液晶画面の数値で確認してください。その他スイッチ類が正常に切り替わることを確認してください。

【機体の動作確認手順】

- 1.プロポの電源を入れ、エレベータースティック、エルロンスティック、スロットルスティックを操作し、各操作が機体サーボに反映されているか確認してください。ラダー操作はテールモーター回転差によって制御されますので、スロットルを50%程度まで上げて、テールモーターの強弱が付くか確認してください。同時に機体を左右に振ります、この時にジャイロが正常に作動しモーターパワーが増減すること確認します。

⚠ WARNING Li-Poバッテリー 取り扱い上の注意(必ずお読みください)



Li-Poバッテリーは小型軽量で高性能ですが取扱いを誤ると大変危険な電池です。最悪の場合、火災・死亡事故に至る危険性を持つことを十分に理解して慎重に取り扱い下さい。その為に当説明書を必ず最後までお読みになり、注意事項を厳守下さるようお願い致します。

1.取扱い上の重要事項

- ・LiPo/バッテリーを使用するにあたり、必ず正しい取扱い知識を習得してください。
- ・設定が正しい充電の場合でも、各セルの電圧のばらつきにより発火する可能性があります。
- ・充電は燃えやすいものが近くにない場所で、目を離さないように行って下さい。
- ・過充電の火災に備えて消火器等を備えてください。
- ・充電は必ず付属の送信機または専用充電器をご利用下さい。
- ・送信機・専用充電器での充電のみご利用頂き、機体以外での放電は行わないで下さい。
- ・本製品は模型用充電式リチウムポリマー電池です。他の用途には使用出来ません。
- ・変形や臭い、変色等の異常を見付けた場合は使用しないで下さい。
- ・電池パックを絶対に分解・改造しないで下さい。
- ・過放電してしまったバッテリーはご使用頂くことができません。
- ・軽い過放電でも繰り返してしまいますとLiPo/バッテリーが次第に傷んでいきます。
- ・LiPo/バッテリーは消耗品となりますので、初期不良品以外の交換・返品は致しかねます。

2.充電時の注意

- ・充電中は離れずに常に監視をして、異常事態に対処して下さい。
- ・万一充電中にリチウムポリマーバッテリーが膨れ始めたら直ちに充電を中止してください。(さらに充電し続けると爆発します)バッテリーを外して安全な場所で様子を見て下さい。
- ・リチウムポリマー電池にはメモリ効果がないため、放電無しで追加充電するだけで使用可能です。
- ・送信機で充電頂く際はスイッチを切っても微弱電流が流れるため、その状態で数時間放置すると過放電になってしまいます。充電完了後は、バッテリーを必ず送信機・USB充電器から抜くようにして下さい。
- ・充電中は電池と充電器を不燃性の台の上に設置して下さい。
- ・充電器は高温になりますので、火傷にご注意下さい。
- ・充電が完了したら必ず電池を充電器から取り外して下さい。

- ・充電前に電池をよく確認して、少しでも膨らんでいる場合は、ダメージを受けている恐れがありますので、絶対に充電(使用)しないで下さい。
- ・充電は電池温度が0～35度の範囲で行って下さい。

3.機体がクラッシュ(墜落)した場合

- ・墜落や衝突で電池が強い衝撃を受けた場合、膨張発火の恐れがありますので、発火しても火災にならない場所に暫く放置して様子を見て下さい。
- ・強い衝撃を受け、内部構造が変形した電池や、被覆が破れた電池は使用出来ませんので適切に破棄して下さい。

4.電池の保管・保存

- ・必ず丈夫なケースに入れて保管し、コネクタの端子間がショートしないように注意して下さい。
- ・電池のラミネート被覆は絶対に穴を開けないで下さい。発火の恐れがあります。
- ・保存可能温度は-20～60度ですが、性能を保つためには10～50度の範囲内の乾燥した場所に保存して下さい。25度での保存が最も性能劣化を防げます。
- ・車内など60度以上の高温状態に放置すると発火する場合があります。
- ・長期保存の場合、少なくとも6ヶ月に一度は充電→放電→保存充電を行い、性能を維持して下さい。
- ・電池から液が漏れていた場合、直接手を触れないで下さい。
- ・満充電で放置しないで下さい。気温が上昇した場合は電圧が上がり、過充電状態になり電池が膨らみ危険です。保存する場合は50～70%程度の充電量で保存して下さい。

5.電池の運搬・廃棄

- ・電池の運搬中は電池表面に力が掛からないようにケースに入れて運搬して下さい。
- ・電池を破棄する場合は約二日間、5%程の食塩水に浸してください。電池が完全に放電され不燃物として破棄することが可能です。
- ・絶対に火の中に投げないで下さい。破裂します。
- ・電池をリサイクルする場合は、詳しい方法を近隣のリサイクル協力店様にお問い合わせいただき、適切に行ってください。



重要!! 送信機の電源を入れる際の注意

送信機の電源を入れるときはスティック位置のキャリブレーションを自動で行いますので、必ずスティックは下記の位置にした状態でスティックに触れないように送信機の電源を入れて下さい。

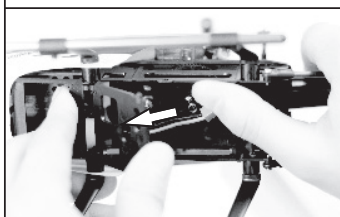
また、機体にバッテリーに差し込んだ後は、速やかに水平な場所に置き、ジャイロが正しく認識するまで触れないようにしてください。

1. スロットルスティックは最スロー（いっぱいまで下げる）
2. エルロン・ラダー・エレベータスティックは中立位置

1. 送信機の電源を入れる

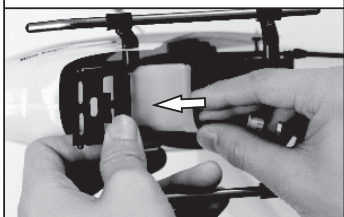


2. バッテリーカバーを開ける

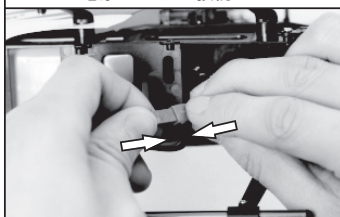


※スティックに触れた状態で電源を入れると、各舵のニュートラル位置が大きくズレてしまい、機体は転がって制御不能になります。

3. バッテリーを挿入する



4. バッテリーカバーを閉め、電源ケーブルを接続する。



■ 電源を切る際の注意

フライトを終え、電源を切る際は上記手順とは逆に、機体側LiPoバッテリーから外します。この手順を守らず、送信機から電源を切ると思わぬ動作をする場合がありますので、十分ご注意ください。

※バッテリーのコネクタを接続したままにすると、バッテリーが過放電となり使用できなくなる場合があります。使用しない時は必ずコネクタを抜いて下さい。

スペック



形式.....NE R/C 232A
送信機.....2.4GHz 4ch
メインローター径.....395mm
全長.....420mm
重量.....276g
パワーシステム.....370モーター
テールモーター.....N50コアレスモーター
バッテリー.....7.4V 1000mAh Li-Po
充電器..2セル LiPo バランスチャージャー

同梱品一覧

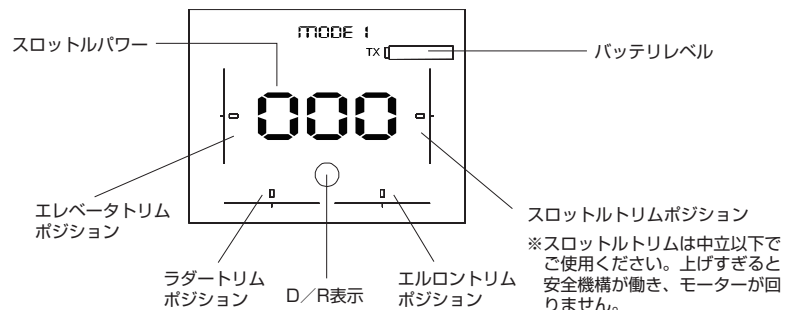
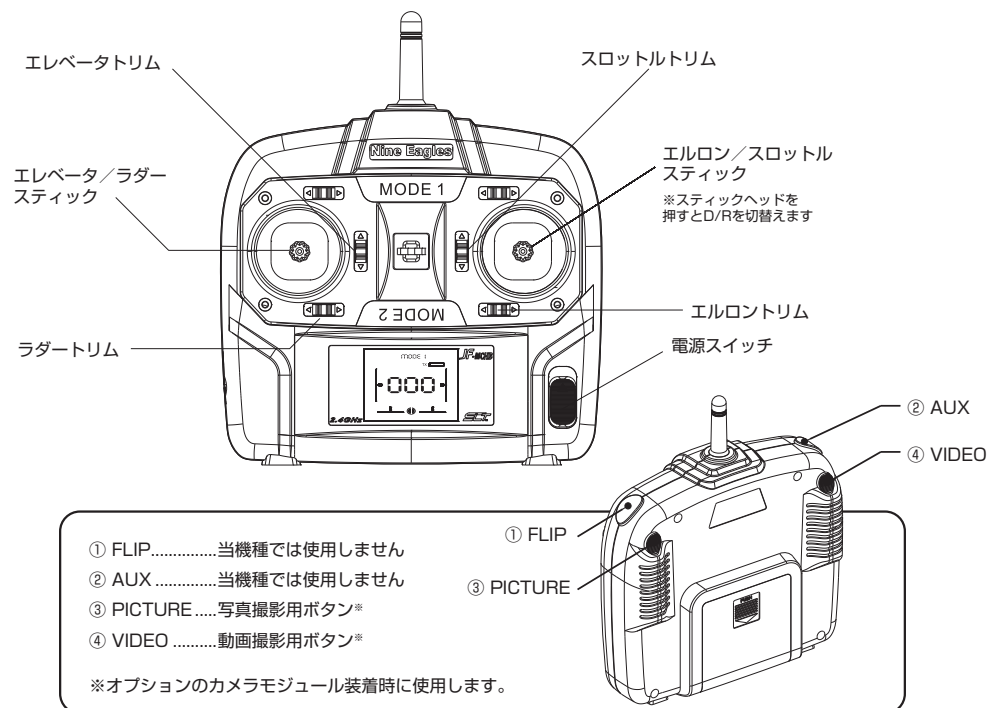
内容物	数 量	数 量
	RTF キット	プロポレスパッケージ
Solo Pro 232 ヘリ本体	1	1
2.4GHz 4ch J4 送信機 (SLT 仕様)	1	—
7.4V 1000mAh リポバッテリー	1	1
ACアダプタ	1	1
充電器	1	1
ボタン電池 (CR2016)	2	2

※当製品は送受信電波に「SLT™プロトコル」を採用しています。このため、これまでの Nine Eagles 製品 (Solo Maxx V や Hughes SX, SoloPro328 など) とは互換性がありません。このため、これらの機体と当製品に付属の送信機はバインドできません。

送信機各部名称 (モード1)

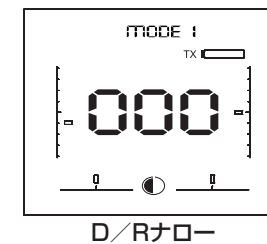
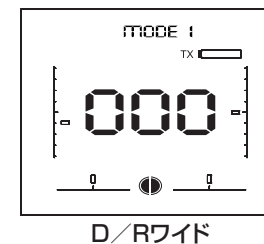
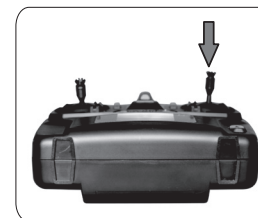
出荷時は日本仕様の【モード1】の設定となっております。

- ・右スティック:エルロン・スロットル操作
- ・左スティック:エレベータ・ラダー操作



D/R(デュアルレート)の切り替え

D/Rの切り替えで機体の反応特性(エルロン・エレベータ)の切替が出来ます。
エレベータスティックヘッドを押し込むたびにブザーが鳴り、D/Rが切り替わります。
現在の位置はLCDの表示マークで確認出来ます。



ヘリコプターの操縦に自信の無い方はD/Rナロー側で操縦して下さい。
ワイドに切替えますと機体が敏感に反応します。

送信機と受信機のバインド方法

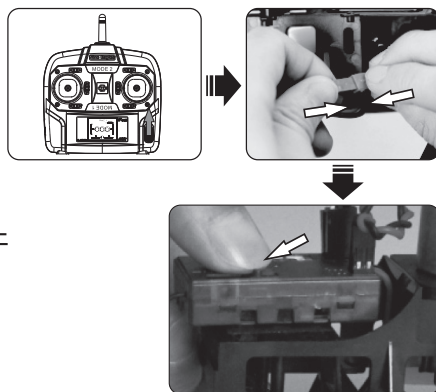
送信機は1台1台独自のIDを持っています。この送信機のIDを受信機に登録する作業を「Bind(バインド)」と呼びます。工場出荷時にはこの作業は済ませてあります。

手持ちの送信機で他の機体を操縦する場合や他の送信機に機体を合わせる場合、そして受信機ユニットの修理などを行った際にこの作業が必要となります。

※稀にバインドが切れる場合もあり、その際もバインド設定が必要になります

以下の手順で簡単にバインドが行えます

- 1.送信機の電源を入れます
- 2.機体にLi-Poバッテリーを挿入し、コネクタをつなぎます
- 3.受信機のバインドボタンを押します
- 4.機体を水平な場所に置き、10秒程待ちます
- 5.送信機のスロットルスティックを一旦最スローしてから上げて機体のモーターが回ることを確認します
- 6.機体と送信機の電源を一旦OFFにして下さい



▶ バインド時の注意点!

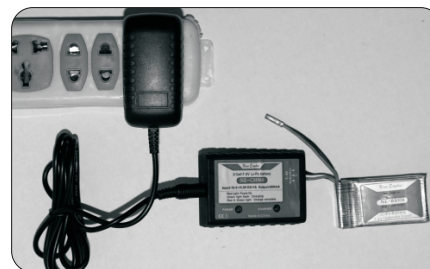
バインド作業は送信機・機体を10cm程度に近づけて作業して下さい



ご注意:バインド作業を行う際には他の2.4GHz送信機や機体の電源をOFFにします。また、無線LANやBluetooth等の機器からも離して作業して下さい。

機体用Li-Poバッテリーの充電方法

- 1.ACアダプタをコンセントに差し込み、充電器につなぎます
- 2.赤LEDが点灯していることを確認しバッテリー側の白い端子を充電器に差し込みます
- 3.緑LEDが点滅し充電がスタートします。
- 4.充電が完了すると、緑LEDが点灯して完了をお知らせします。



充電時間(目安):40~60分程度



重要な注意事項

Li-Poバッテリーは取り扱いを誤ると発火する恐れのあるバッテリーです。
下記の指示を必ずお守り下さい。

- ・純正充電器または送信機以外では絶対に充電しないで下さい
- ・他の種類のLi-Poバッテリーは充電しないで下さい
- ・気温35度以上では充電しないで下さい
- ・Li-Poバッテリーのラミネートカバーが膨らんでいるバッテリーや甘い臭いがするバッテリーは充電しないで下さい
- ・安全の為に充電中は部屋にいて異常事態に対処して下さい
- ・電池を保管する場合、電池寿命の為に残量がゼロの状態や満充電状態を避けて下さい
- ・過放電(バッテリーを完全放電すること)しますと、ご使用頂けなくなる場合があります。十分ご注意ください

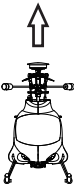
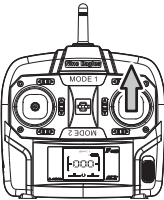
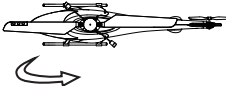
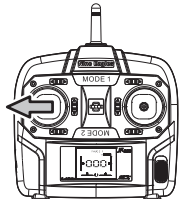
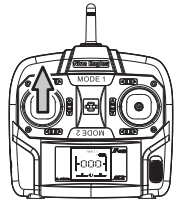
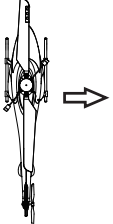
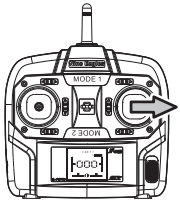
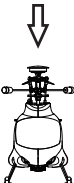
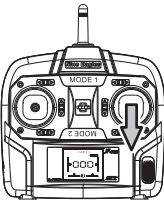
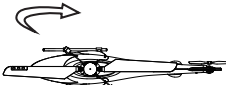
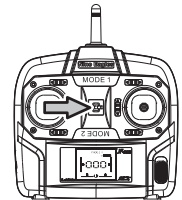
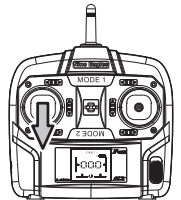
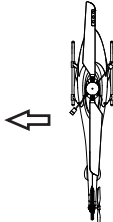
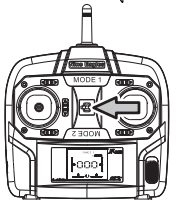


過放電に注意してください

長時間に渡りフライトを行い、バッテリーのエネルギーを多く使ってしまうと、LiPoバッテリーは過放電によりダメージを受け、最悪使用できなくなります。飛行中にメインローターの回転が低くなってきたらすぐ飛行を中止し、機体からLi-Poバッテリーを外して下さい。

スティック操作一覧

送信機のスティック操作で機体は下図のように操縦出来ます

Mode 1			
スロットル	ラダー	エレベータ	エルロン
上昇  	左回転  	前進  	右移動  
スロットル	ラダー	エレベータ	エルロン
下降  	右回転  	後進  	左移動  

トリム調整

送信機のスティック根元にはトリムレバーボタンがあります。

トリムとは、スティックから手を離れたときの機体の各舵の中立位置（ニュートラル位置）を微調整する物です。

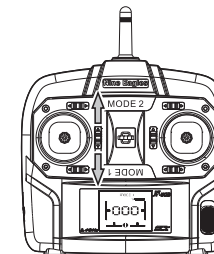
これをしっかり調整しないと機体は安定して空中に静止しません。重要な役割ですので飛行前に納得いくまで調整して下さい。調整出来ていないままに飛行させると機体は傾いて墜落してしまう危険性があります。

最初は機体のスキッド部を軽く持ち、ホバーリング出来る程度までスロットルを上げ、機体がどちらかに傾く（回転するか）慎重に見極めます。クセのある舵のトリムを、クセがとれて傾かなくなる位置まで調整します。

※下記説明は MODE1 での説明となります。

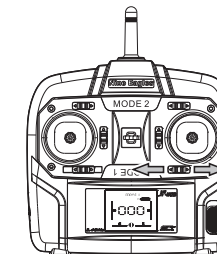
※回転中のローターに触れないようにご注意ください。

■ エレベータトリム



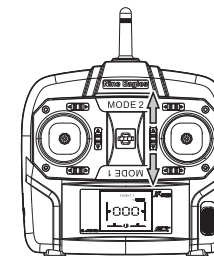
機体が前後に傾く場合は傾いた方向とは逆方向にトリムレバーを押して打ち消すように調整します。位置はLCDに表示されます。

■ エルロントリム



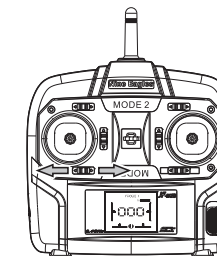
機体が左右に傾く場合は傾いた方向とは逆方向にトリムレバーを押して打ち消すように調整します。位置はLCDに表示されます。

■ スロットルトリム



LCDの表示がセンターであれば特に調整の必要はありません。スティックを一番下にしたときにモーターが停止すればOKです。位置はLCDに表示されます。

■ ラダートリム



機体が左右に回転する場合は回転する方向とは逆方向にトリムレバーを押して打ち消すように調整します。位置はLCDに表示されます。

※スロットルトリムは中立以上に上げないでご利用ください。上げすぎると安全機構が働き、モーターが回らない仕組みとなっています。

※機体の回転がトリムで停止出来ない場合は、モーターの寿命・劣化が考えられます。

メインブレードLED用バッテリー取付け方法

1. ローターヘッド上部にメインブレードLED用のバッテリーが収納されていますので、ローターヘッドカバーを反時計回りに回してヘッドカバーを外します。
2. LED用ボタン電池（CR2016）2つを極性に注意してセットします。（図1参照）
※ボタン電池の刻印がある面が上にくるようにセットして下さい。
3. ヘッドカバーを時計回りに回してカバーを閉めます。
4. 完全に締めるとメインブレードのLEDが点灯します。
5. LEDをオフにする場合はLEDが消灯するまでヘッドカバーを緩めて下さい。
6. ボタン電池は通常の使用で約4時間未満使用できます。

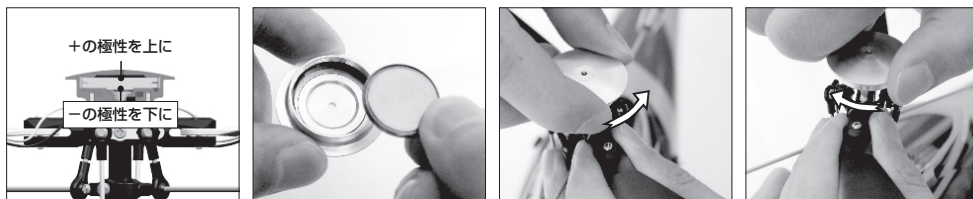


図 1

LED搭載メインブレード交換方法

メインブレードが損傷したり、またその他の理由でメインローターを交換する必要がある場合は、下記の交換手順を参照してください。

1. ローターヘッドカバーを取り外し、ボタン電池を外します。
2. 電池を外すとバッテリーホルダーをローターヘッドに取り付けるネジが現れますので、ネジを外してバッテリーホルダーを取り外します。
3. +、-の両ターミナルコードを外します。
4. ローターブレードを交換します。
5. 黒いコードが（-）、白（グレー）のコードが（+）です。（-）のコードをバッテリーホルダーとローターヘッドの間のネジに通します。次に、+のコードをバッテリーホルダに直接ネジ止めします。
6. 電池の極性に注意して電池を入れ、ローターヘッドカバーを取り付けます。
7. 完全に締めるとメインブレードのLEDが点灯します。
8. LEDをオフにする場合はLEDが消灯するまでヘッドカバーを緩めて下さい。

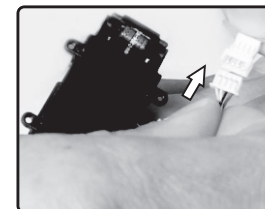
カメラシステムの使用方法

■カメラの取り付け

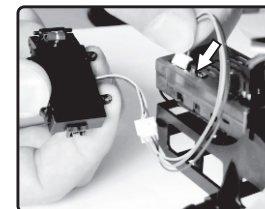
1. スキッドを外しキャノピーを取り外します。
（画像Aを参考にしてください）
2. カメラのコードに延長コードを接続します。
（画像Bを参考にしてください。）
3. カメラの延長コードを受信機に差し込みます
（画像Cを参考にしてください。）
4. カメラをフレーム底部のカメラ固定スペースにネジで取り付けます。
（画像Dを参考にしてください）
5. スキッドとキャノピーを取り付けSDカードを差し込んでください。
※SDカードは必ず電源を入れる前に差し込んでください。
（画像Eを参考にしてください。）



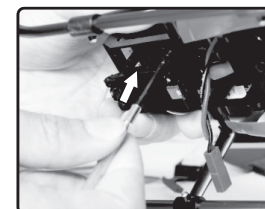
（画像 A）



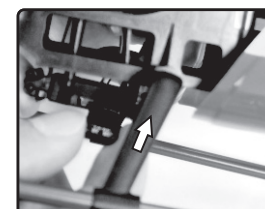
（画像 B）



（画像 C）



（画像 D）



（画像 E）

■カメラ使用方法

1. 機体と送信機の電源を入れます。
2. 送信機の（photo）ボタンを押すことで写真撮影が可能です。
3. 送信機の（video）ボタンを押すことで動画撮影が可能です。



カメラ使用時のご注意

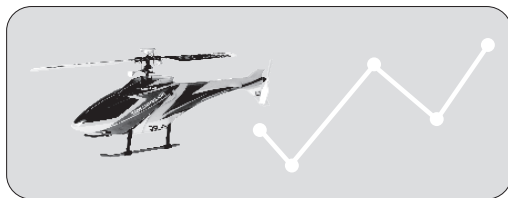
- 写真の連続撮影は初めの撮影から次の撮影まで2秒ほどの時間が必要です。撮影時の反応が悪い場合は両撮影時に各ボタンを何度か押してください。
- 動画の撮影は一度ボタンを押して録画が開始されてから、再度ボタンを押すと停止します。撮影開始後、再度ボタンを押さなければ動画は保存されませんのでご注意ください。
- カメラの動作はカメラ横のLED表示で確認できます、動画の撮影中はLEDが点滅状態となり、再度ボタンを押し表示が点灯に変わると撮影が終了したことを示します。
- カメラシステムを使用する場合はオプション販売品のカメラセット（NE53140031）、延長コード（ ）の二点が必要です。

フライトトレーニング

- ・トリム調整は立って手のひらに乗せ、浮上する程度にスロットルを上げ、機体が大体止まるようにトリムを調整するのが良いでしょう。
※トリム調整は無風状態で行ってください
- ・シングルローター式のため、テールローターの作用を打ち消すようにホバリング時は機体が少し右に（エルロン軸）傾いて静止するのが正常です。
- ・床からの浮上は地面効果のためにエルロンを右に素早く修正しないと機体は左に移動してしまいます。（ミキシング機構により、ある程度自動修正されます）
- ・この機体はシングルローター式のために、スティック操作による各舵の反応は、左右前後それぞれ異なり、クセがあります。また、各舵を独立して操作しても他の軸の舵に影響やクセが出ます。このクセを飲み込み無意識にスティックで修正できることが上達への目標になります。そして操縦に慣れると二重反転ヘリより運動性の良い自在な飛行が可能になります。本格的な RC ヘリに向けた練習としてはフライトシミュレータより実践的です。
- ・飛行はエアコンや開いた窓・換気扇の僅かな風にも影響を受けます。
- ・落下や他に接触した機体はそのまま飛行させないで、必ず各部を点検してください。各ロッドの抜け・スワッシュプレートの変形やベアリングの浮き・テールモータのズレ・キャブのズレ・スキッドの緩み、そしてバッテリーが後方にズレると重心が狂います。
- ・トリム調整が完全に行っても機体は自動でホバリングしませんので、しっかりと当て舵を打って機体を安定させてください。この修正打を打ってホバリングを安定させる事がヘリコプター操縦の基本となります。

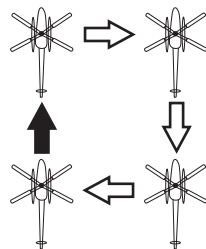
フライト練習方法

初めてのフライトで上手にフライトできない時は、以下のような練習方法をおすすめします。



①カエル飛び

離陸させて操作が分からなくなったら着陸させる、この動作を繰り返し練習してください。これをカエル飛びといいます。



②ボックスパターン

最初は機体を後ろから見て、図のように飛ばせるように練習してください。最終的にはどの向きでも図のような動きができるようにしてください。

⚠ 飛行時のご注意

- ・飛行中にパワー不足を感じた時はバッテリーの残量が少なくなっています。速やかに着陸して充電してください。過放電するとバッテリーが使用できなくなります。
（当製品にはオートカット機構が付いておりませんので、十分ご注意ください）
- ・墜落しそうな時や物に接触しそうな時は、できるだけ素早くスロットルスティックを下げてモーターパワーを絞ってください。モーターが回っている状態で接触や墜落をすると、機体の破損が大きくなります。また、モーターにも負担が掛かり、寿命が短くなります。
- ・機体を保管するときはローターやスタビライザーに何も触れないように保管してください。ローターに何かが触れたままだと変形してトラッキングがズレてしまいます。
- ・当機体はフルカウルボディを装着しているため、熱がこもりやすくなっています。モーターの負荷軽減のため連続フライトは避け、フライトごとに30分程度機体を休ませて下さい。

フライトに関するQ&A

Q. 機体の電源が全く入らない。（機体LEDも点灯・点滅しない）

- A. バッテリーの向きは正しいか確認してください。充電は正しく完了していますか？
バッテリーの予備があれば、違うバッテリーでお試しく下さい。違うバッテリーでも動作しない場合は、機体側配線が断線している可能性があります。キャブを外して配線が外れていないかご確認ください。

Q. 機体の電源は入る（LEDが点滅）が、動作しない。

- A. バインドが切れている可能性があります。当説明書「バインド設定」項目をご確認頂き、バインド設定をお試しく下さい。

Q. 墜落した後、機体が暴れるようになったが、どこが悪いのかわからない。

- A. メインローターに何か接触すると、スピンドルシャフトが曲がり、正しくフライトできなくなる場合があります。基板部サーボ（エルロン・エレベーター）が衝撃等によって破損してしまうと、送信機スティックに反応しなくなる場合があります。この場合、基板（受信機）の交換が必要となります。

Q. モーターの出力が落ちてきた・上昇しなくなった。

- A. バッテリーを代わる代わる連続でフライトさせますと、モーターの寿命を極端に縮めてしまいます。1フライトごとにモーターを自然冷却させてください。
メインモーターやテールモーターの寿命は、お客様のフライト環境によって異なります。バッテリー容量に問題がなく、モーターの回転が弱くなった場合、モーターを交換する必要があります。

Q. 機体が回転してしまう。

- A. テールブレードが外れ、付け直した際に逆向きに取り付けますと、機体がぐるぐると回転してしまいます。この場合は、テールブレードの向きを確認してください。

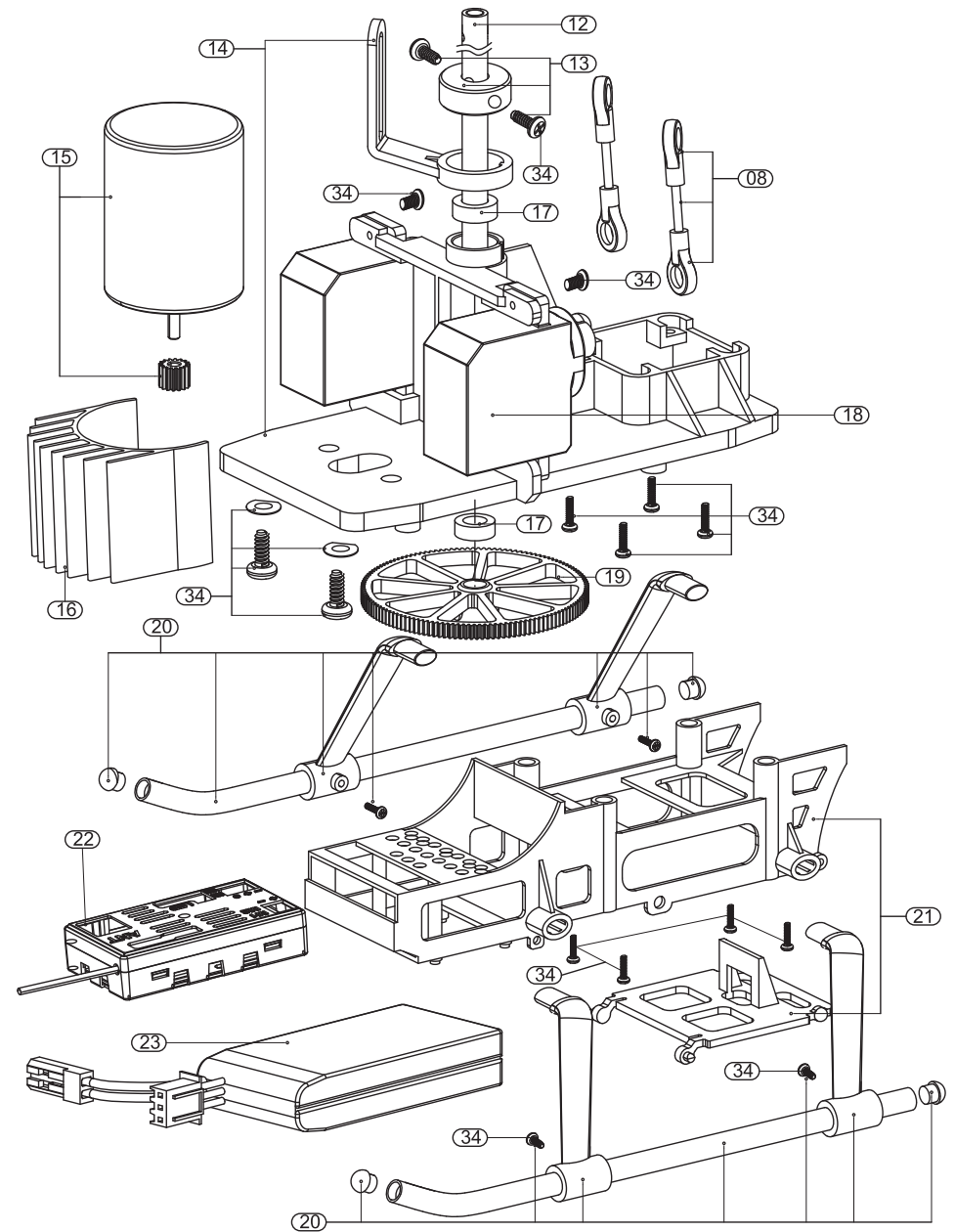
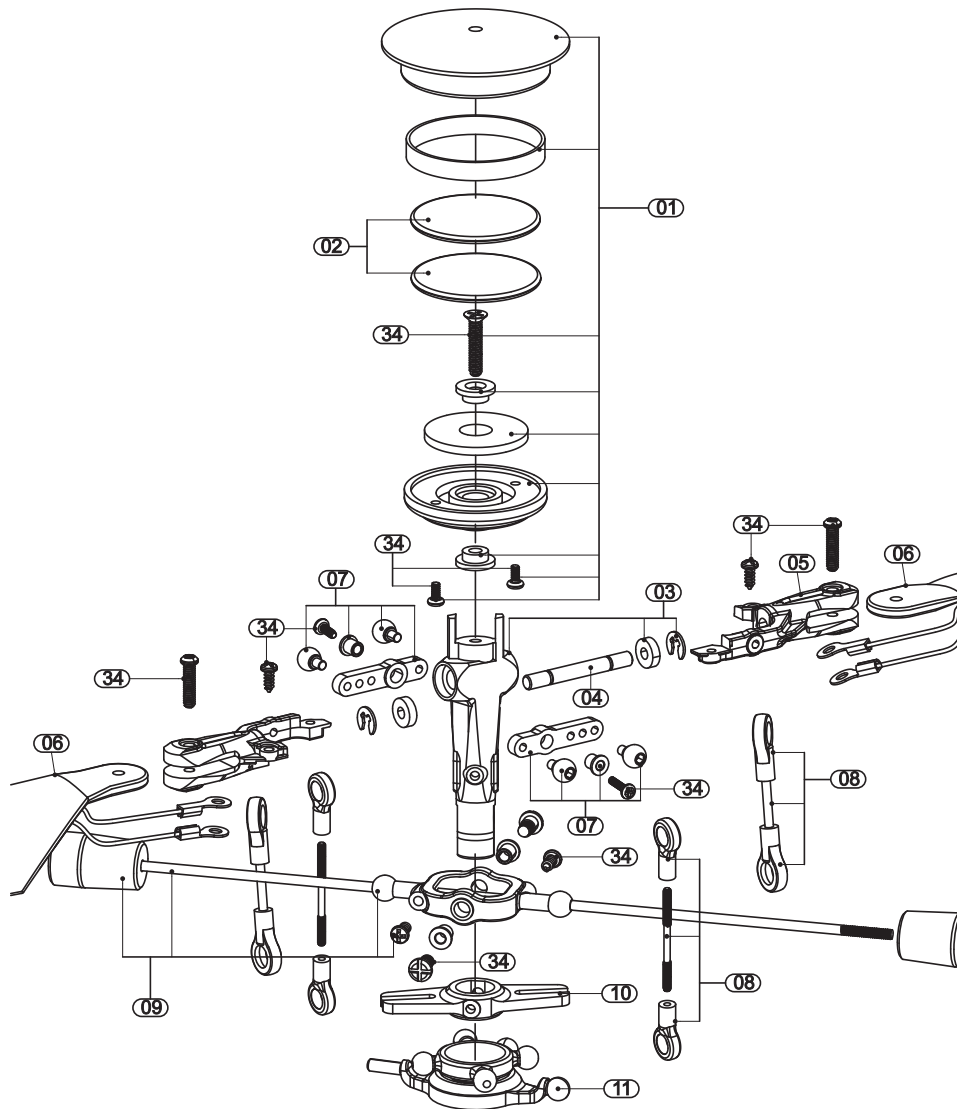
Q. トリム調整を行っても機体が前後、左右に流れてしまう。

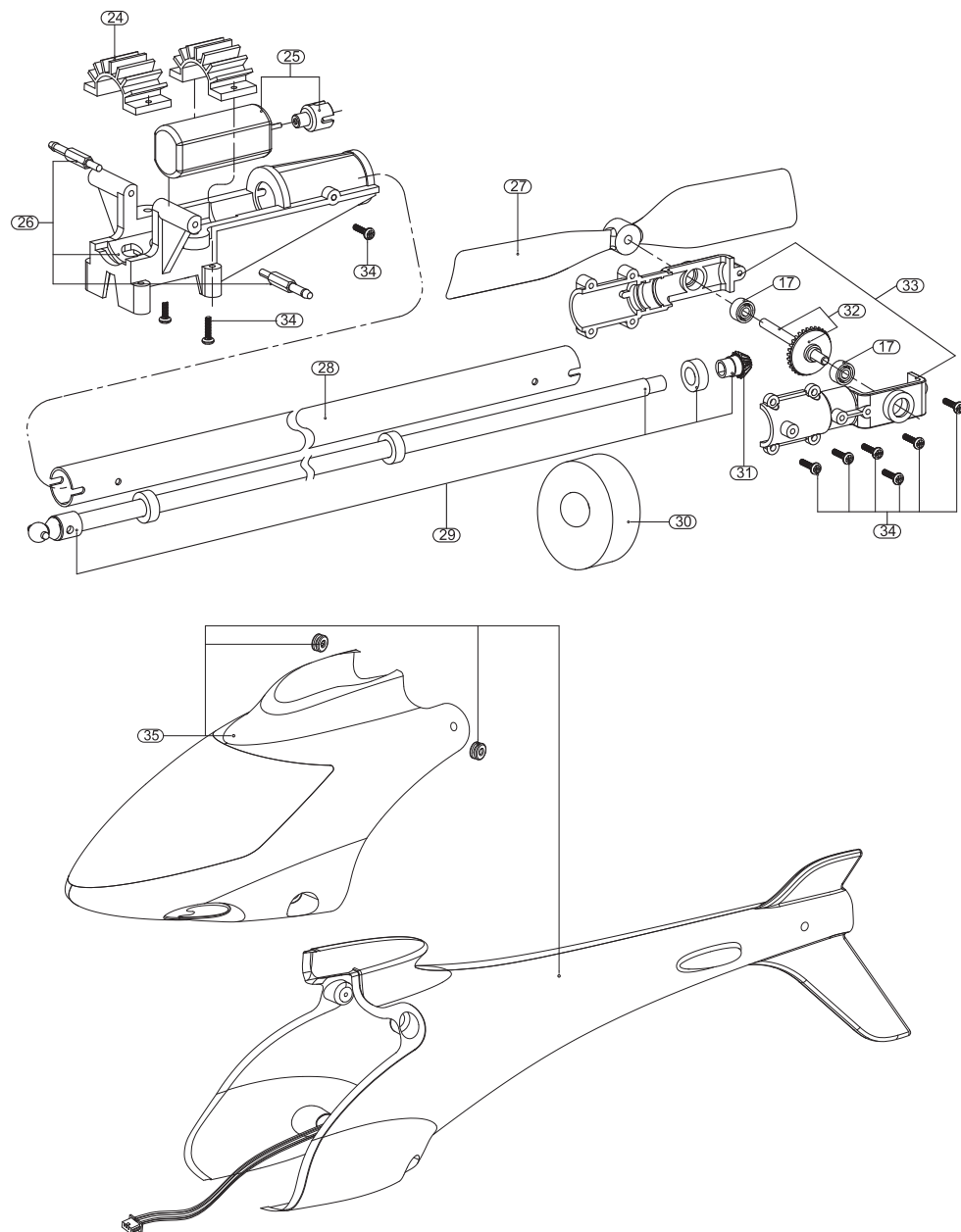
- A. リンケージの調整を試してみてください。機体が右方向に流れてしまう場合は、機体を後ろから見て左側のリンケージを短くします。機体が前進してしまう場合は右側のリンケージを長くします。
※機体を後ろから見て左のサーボがCH1エルロン、右のサーボがCH2エレベーターです。

Q. 機体からビビリ音のような異音がある。

- A. 当機体はフルカウルボディを装着しているため、共振が起こりやすくなっております。フライトに支障はございません。

Solo Pro 232展開図





Solo Pro 232 パーツリスト

展開図No.	品番	名称
1	NE400813	バッテリーホルダー
2	NE480250	ボタン電池 (CR2016)
3	NE400814	ブレードヘッドセット
4	NE402228033A	スピンドルシャフトセット (SoloPro228, SoloPro228P)
5	NE402228051A	ロータークリップ (SoloPro228P)
6	NE400815	メインブレード
7	NE402228049A	ロッカーセット (SoloPro228P)
8	NE402228009A	ボールリンケージロッドセット (SoloPro228, SoloPro228P)
9	NE402228048A	スタビライザーバーセット (SoloPro228P)
10	NE402228050A	フレームスパーサー (SoloPro228P)
11	NE402228047A	スワッシュプレート (SoloPro228P)
12	NE402228013A	メインシャフトセット (SoloPro228, SoloPro228P)
13	NE402228022A	カラーセット (SoloPro228, SoloPro228P)
14	NE402228012A	メインフレーム (SoloPro228, SoloPro228P)
15	NE402228035A	メインモーター (SoloPro228, SoloPro228P)
16	NE400887	メインモータークーリングファン
17	NE400818	ベアリング (SoloPro230)
18	NE11017610	サーボ (6g) (SoloPro228)
19	NE402228015A	メインギア (SoloPro228, SoloPro228P)
20	NE402228005A	アルミスキッドセット (Red) (SoloPro228, SoloPro228P)
	NE402228006A	アルミスキッドセット (Black) (SoloPro228, SoloPro228P)
21	NE402228008A	ランディングスキッドホルダー (SoloPro228, SoloPro228P)
22	NE480251	受信機セット
23	NE411936001A	LiPoバッテリー 7.4V, 1000mAh (SoloPro228, SoloPro228P)
24	NE400886	テールモータークーリングキャップ
25	NE402228007A	テールモーターセット (SoloPro228, SoloPro228P)
26	NE402228023A	テールモータマウントセット (SoloPro228, SoloPro228P)
27	NE402228030A	テールブレードセット (SoloPro228, SoloPro228P)
28	NE402228026A	アルミテールboomセット (Red) (SoloPro228, SoloPro228P)
29	NE400816	ドライブバー (SoloPro230)
30	NE400729	耐衝撃クッションリング (Solo Pro230)
31	NE400718	プライマリーベベルギア (SoloPro230)
32	NE402228025A	ベベルギアセット (SoloPro228, SoloPro228P)
33	NE402228024A	キャビン固定用ロッドセット (SoloPro228, SoloPro228P)
34	NE400817	スクリューセット
35	NE400894	キャビンセット (レッド&ブルー)
	NE400812	キャビンセット (イエロー&グリーン)
	NE412968001A	充電器 (SoloPro228, SoloPro228P)

※No.⑨のメインギア用のネジはNo.④のスクリューセットに付属します。

※各種パーツは改善のため、予告なく仕様変更および形状変更する場合がありますのでご了承下さい。

価格などの最新情報は弊社Webサイトにてご確認ください。

<http://www.hitecrcd.co.jp/>

新品交換保証について

万一機体が大破してしまった際、弊社では定価の約半額で新品に交換できる「新品交換保証」制度があります。

「新品交換保証」を適用させて頂くには、弊社で販売されたことを証明する「元箱」・「日本語説明書」・「機体など付属品一式」を弊社へお送りください。その際、【修理依頼票】にご記載頂けますようお願いいたします。

新品交換保証とは?…定価の約半額で全く新しい商品をお送りする制度です。破損してしまった場合、修理金額が高額となる場合、新品交換保証を適用させて頂く場合もございます。あらかじめご了承ください。

新品交換保証額: 税抜 13,500円(RTFキット)
税抜 12,000円(プロポレスパッケージ)

修理・サポートについて

お求めいただいた商品にトラブルが発生した場合や技術的なご質問がある場合はまずP15のQ&A
をご覧ください。販売店様または弊社カスタマーサポートにお問い合わせください。
また、弊社サポートページにはトラブル解決のためのヒントがあります。
<http://www.hitecrd.co.jp/support/>

修理サポートをご要望の場合は、別紙の「故障かなと思ったらお読みください」をご覧ください、弊社まで商品一式をお送りください。お電話またはお問い合わせフォームをご利用頂くことで解決できる問題も多くございますので、トラブルがあった際はお送り頂く前に弊社カスタマーサポートまでご連絡頂けますようお願い致します。

スペアパーツにつきましては弊社オンラインショッピングや機体をご購入された販売店様にてお求めいただけます。

お近くの販売店様をお探しの場合は弊社HPのお取り扱いショップ一覧をご覧ください。

<http://www.hitecrd.co.jp/shop/>

MEMO

[illegible]